

イベントのご案内

「精神疾患は難しい」の正体を問うー精神科訪問支援の実践からー (3/8)  
第5回訪問OT専門研修

「『精神疾患は難しい』の正体を問うー精神科訪問支援の実践からー」  
「精神疾患は難しい」と感じてしまうとき、その“難しさ”はどこから生まれているのでしょうか。診断名や症状だけでは捉えきれない生活のリアルに出会う精神科訪問支援の実践を手がかりに、地域で暮らし続けるための支援について考えます。



「精神疾患は難しい」の正体を問うー精神科訪問支援の実践からー

2026年 **3月8日** (日) 9:30~12:30 (9:15~受付)

場所 オンライン(zoom) 対象 作業療法士、作業療法学生、医療福祉関係者、当事者

講師 戸田竜也 氏(一般社団法人 SCRAP&BUILD 代表理事)

参加費	埼玉県作業療法士 会員 2,000円	・非会員 ・医療福祉関係者 4,000円	・障がい当事者 ・作業療法学生 無料
-----	--------------------------	----------------------------	--------------------------

講義内容

- 継ぎ目ない支援: 退院から地域生活に向けた準備、継続的な定着支援を行うためには?
- 地域連携: 病院・行政・相談支援との具体的な連携方法は?
- 関わり方: 本人の希望を丁寧に引き出す対話のプロセスは?

身体障害分野でも、病院勤務の方も、ご興味のある方はぜひご参加ください!

申し込みはこちらから!

お申込みお問合せ: 埼玉県作業療法士会 訪問リハビリテーション振興委員会 担当: 加藤恒平 ①houmon.saitamaot@gmail.com

開催概要

日時: 2026年3月8日 (日) 9:30~12:30 (9:15~受付)

形式: オンライン (Zoom)

講師: 戸田竜也 (一般社団法人SCRAP&BUILD 代表理事)

対象: 作業療法士 / 作業療法学生 / 医療福祉関係者 / 当事者

参加費

- 埼玉県作業療法士会 会員: 2,000円
- 非会員・医療福祉関係者: 4,000円
- 障がい当事者・作業療法学生: 無料

お申込み

チラシ内のQRコードよりお申込みください。

お問合せ

埼玉県作業療法士会 訪問リハビリテーション振興委員会 担当: 加藤恒平 メール:

houmon.saitamaot@gmail.com

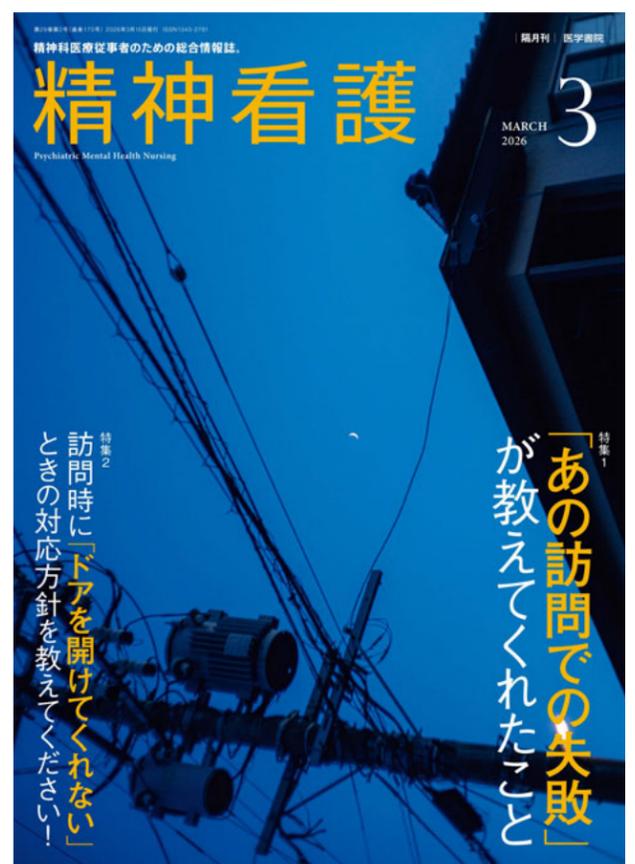
連載掲載のお知らせ

精神看護 2026年3月号 (医学書院)

代表の 戸田竜也 が、『精神看護』2026年3月号 (医学書院) にて連載を執筆しています。

本号に掲載される連載 「本当の退院支援ってこういうこと…3 (最終回)」 「住居問題をどうする? 生活を支えるってこういうこと」では、退院後の地域生活の土台となる「住まい」をテーマに、住居確保にまつわる現実的なつまずきを、制度の説明だけで終わらせず“実際に生活へつなげる”ための実践知として整理しています。暮らしを「続けられる」形にするには何が必要か——連載最終回として、退院支援の核心をあらためて掘り下げる内容です。

また、本号の特集は 特集1 「あの訪問での失敗」が教えてくれたこと 特集2 訪問時に「ドアを開けてくれない」ときの対応方針を教えてください! 現場のリアルな迷いと判断を言語化する、実践的な論考が多数収録されています。



「あの訪問での失敗」が教えてくれたこと 特集1  
「訪問時に「ドアを開けてくれない」ときの対応方針を教えてください!」 特集2